

# ふくしま「林・農」連携モデル創出事業（農業）

中山間地域等における周年雇用が可能な農業経営のモデルの実証と普及により、中山間地域を担う人材の確保と「働く場」を創出する。

## 課題

### ○ 中山間地域（特に奥会津）は高齢化が一層進行

(1位) 金山町：59.4%、(2位) 昭和村：55.6%  
 (2位) 三島町：53.2% (4位) 西会津町：47.2%

### ○ 新規就農者数は5年連続200名を超えるも、過疎・中山間地域の新規就農者は横ばいで目標を下回る

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
目標値	160	170	180	190	200	210
実績値	166	212	238	211	219	212
うち過疎中山間	102	104	88	97	89	95

### ○ 新規就農者の約半数は農業法人等の雇用による就農である

### ○ 積雪地帯では冬期間の作物栽培が難しく、経営主でも除雪やスキー場に従事する者が多い

中山間地域の振興のためには、周年雇用できる経営体の育成が急務

## ふくしま「林・農」連携営農モデル創出事業

### 1 林・農連携等周年雇用モデル普及事業

きのこ等の林産物生産を取り入れた営農形態等、周年雇用のモデル経営の実証と普及を図るため、協議会において、周年雇用モデルの作成や実証内容の検討、成果の共有と普及を図る。

#### ア 協議会（会津・南会津の2カ所想定）

県、市町村、JA、森林組合、民間団体  
 （種苗・施設メーカー）生産者等

#### イ 取組内容

モデルの検討、セミナーの開催



菌床しいたけ

### 2 周年雇用モデル実証ほの設置

1の協議に基づき、実証ほの設置事業を民間団体等に委託して実施する。

#### ア 委託先：民間団体等

#### イ 委託内容：

必要施設・機械等の整備(2/3以内)、  
 実証ほの運営（栽培管理指導、安定雇用に係る助言）  
 実証結果の取りまとめ、野菜生産部会等を対象とした現地検討会開催



県オリジナル品種



新規就農の拡大  
 移住・定住促進

中山間地域の  
 働く場の拡大



中山間地域の活性化